

レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 専門コース(第184回)  
**次世代革新的創薬シーズを活かす最先端医療へ向けて**  
**ーバイオブロックバスター終焉と創薬パラダイムシフトー**  
**シリーズ2:次世代抗体医薬品の現状と展望(抗PD-1抗体・抗CCR4抗体)**  
 主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

【講演内容】

10:30~10:35	開会挨拶	寺尾 允男(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)
10:35~11:40	バイオ医薬品の2015年問題と次世代創薬シーズとしての抗体医薬品の潮流と展望	宮田 満(日経BP社特命編集委員)
11:40~11:45	質疑応答	座長:野口 隆志(昭和大学薬学部客員教授)
11:45~12:45	休憩(昼食)	
12:45~13:40	サイトカイン・ケモカインの基礎研究を基盤とした抗体医薬開発への貢献と今後の方向	松島 綱治(東京大学医学部大学院医学系研究科分子予防学教授)
13:40~13:45	質疑応答	座長:小林 史明(株式会社CTD代表取締役社長)
13:45~13:50	休憩	
13:50~14:45	がん免疫チェックポイント療法の考え方	湊 長博(京都大学大学院医学研究科免疫細胞生物学教授)
14:45~14:50	質疑応答	座長:小林 史明
14:50~14:55	休憩	
14:55~15:20	抗PD-1抗体(ニボルマブ):世界に先駆けた国内承認の事例	大山 行也(小野薬品工業株式会社オンコロジー臨床開発企画部)
15:20~15:25	質疑応答	
15:25~15:50	抗PD-1抗体:メラノーマに対する差別化医療	山崎 直也(国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科科長)
15:50~15:55	質疑応答	座長:松森 浩士(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団参事)
15:55~16:00	休憩	
16:00~16:25	低Fcγ型ヒト化抗CCR4抗体モガムリズマブのT細胞リンパ腫での開発	秋永 士朗(協和発酵キリン株式会社研究開発本部フェロー)
16:25~16:30	質疑応答	
16:30~16:55	抗CCR4抗体:ATLに対する抗体療法から、固形がんに対するTreg細胞除去療法への展開	上田 龍三(愛知医科大学腫瘍免疫寄附講座教授)
16:55~17:00	質疑応答	座長:平松 信祥(岡山大学病院新医療研究開発センター教授)

【日時および場所】

平成28年1月20日(水) 10:30~17:00

日本薬学会 長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷2-12-15 地下2階)

国際医薬品市場におけるトップ10の内7製品を占めるバイオ医薬品の特許喪失による2015年問題(わが国では2017年)を迎えて、次なるブロックバスターの期待は大きく外れ、その終焉を迎えています。製薬企業各社は、次世代の革新的創薬シーズを求めて新たな最先端医療へ向けた新医薬品開発を模索中です。また、最近の創薬における新たな潮流として、米国オバマ大統領は新たに「個の医療」(Precision Medicine)を提唱し、方向転換の舵を大きく切ったところでもあります。

そのような現状において、次世代の革新的創薬シーズとして抗体医薬品や核酸医薬品に承認成功例を見出せる今日、従来の個別化医療とは異なる視点でこれからの医療を見据えて創薬シーズ探索方向の認識枠組みのシフトを図る必要があると考えます。

今回、このような時代の流れを汲んで、財団の研修会としても、「次世代革新的創薬シーズを活かす最先端医療へ向けて」と題した研修セミナーを、シリーズで企画致しました。

シリーズ②として、「次世代抗体医薬品の現状と展望(抗PD-1抗体・抗CCR4抗体)」と題して、抗体医薬品の成功事例を踏まえた次世代医薬品として、国内外における研究開発の現状や将来展望あるいは開発へ向けての課題、特に臨床開発における事例等についてのご講演をお願いしております。

医薬品等における創薬あるいは育薬に携わる多くの皆様にとって、今後の方向性を見極める参考となれば幸いです。本研修会の趣旨にご賛同いただき、多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 専門コース(第184回)  
**次世代革新的創薬シーズを活かす最先端医療へ向けて**  
**ーバイオブロックバスター終焉と創薬パラダイムシフトー**  
**シリーズ2:次世代抗体医薬品の現状と展望(抗PD-1抗体・抗CCR4抗体)**

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団  
 後援 日本製薬団体連合会 日本ジェネリック製薬協会 一般社団法人日本医薬品卸売業連合会  
 日本製薬工業協会 米国研究製薬工業協会(PhRMA) 公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団  
 公益社団法人東京医薬品工業協会 欧州製薬団体連合会(EFPIA-Japan) 公益財団法人MR認定センター  
 大阪医薬品協会 一般社団法人日本CRO協会 日本CSO協会  
 日本OTC医薬品協会

## 【申込要領】

## 1. 申込方法

受講希望の方は財団ホームページ (<http://www.pmrj.jp>) より申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

## 2. 受講料(消費税込): 要旨集代を含みます。

- ・法人会員(法人会員は1口につき4名が会員扱い)／個人会員 18,000円
- ・レギュラトリーサイエンス エキスパート認定に係る登録者(開発・MA・PV分野対象) 15,000円
- ・非会員 27,000円
- ・行政／アカデミア／医療機関／学生 7,500円

※受講者の方は、以下の書籍およびDVDを特別価格でご購入いただけます。申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。

- <新刊>PVの概要とノウハウ----- 7,400円
- <新刊>映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD) クロロキン事件----- 44,000円
- 知っておきたい薬害の知識 ----- 1,700円
- 知っておきたい薬害の教訓 ----- 2,400円
- 日本の薬害事件(日英対訳版) ----- 9,300円
- 基礎から学ぶ医療経済評価 ----- 5,500円
- 日英対訳 日本における医薬品のリスクマネジメント第2版----- 11,000円
- 温故知新 ～薬害から学ぶ～(DVD)
- ①総集編, ②スモン事件, ③筋短縮症-----各 4,600円
- ④サリドマイド, ⑤薬害エイズ事件,
- ⑥陣痛促進剤による被害, ⑦薬害肝炎事件,
- ⑧ソリブジン事件-----各 7,400円

## 3. レギュラトリーサイエンス エキスパート認定単位

医薬品関係企業、行政機関、アカデミアおよび医療機関等の皆様に、最新の情報や知識等に関する研修の機会を利用し、研修実績を客観的に認定することで個人のモチベーションを高めスキルアップの持続を図っていただく制度です。当財団が行っている所定の研修会受講者をレギュラトリーサイエンス エキスパートとして認定いたします。

登録・認定の対象分野にはMA、開発、PV、品質、薬害教育があります。詳細は財団ホームページ「認定制度」をご覧ください。

本研修会は 登録単位 全分野：1.25単位  
 認定単位 **開発・MA・PV分野：2.5単位** が、付与されます。

## 4. 注意事項

- \* 振込依頼書のご依頼人欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- \* 受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAXでの受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- \* 現金送金をご遠慮願います。
- \* 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- \* お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- \* 個人会員の方、レギュラトリーサイエンス エキスパート認定登録者の方は、ご本人の出席に限ります。
- \* 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

## 5. 問い合わせ先

一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 研修担当；電話 03-3400-5644  
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 / <http://www.pmrj.jp>

演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承下さい。